

## 英米文学研究Ⅱ

科目ナンバリング LIE-304  
選択 2単位

程 文清

### 1. 授業の概要(ねらい)

今年度の後期では、おもに20世紀後半のアメリカ文学の代表的な作品を取り上げ、作品の抜粋、映画などを使い、作風、作品が描き出す価値観、また社会、文化と歴史背景について研究していきます。様々な作品に触れ、文学史の流れにおける位置付けを探り、さらにこれらの作品に複雑に織り込まれているジェンダー、セクシャリティ、階級、家族、友情などの要素を考察し、多角的な視点と広い視野を身につけると同時に、文学の面白さと奥深さを体験してもらいたい。

### 2. 授業の到達目標

1. アメリカ文学の基礎的知識を習得し、言葉と文学の面白さを味わえ、多様な解釈の可能性に気付くことができる。
2. 文学作品を通して、作品が生み出された時代、文化と社会背景について学習することができる。
3. アメリカ文化を人種・宗教・ジェンダーなど多角的視点から考察し、より広い視野を国際的感性を養う。
4. 原作の抜粋を英語と日本語の両方で読解することによって、総合的英語力の向上につながる。

### 3. 成績評価の方法および基準

出席・中間試験・期末試験・提出物などによる総合評価を行う。  
提出物・中間テスト50%、期末試験50%

### 4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。授業内容に合わせて、プリントは随時用意し、配布する。

参考文献

諏訪部浩一 An Introduction to American Literature 三修社  
渡辺利雄 『講義—アメリカ文学史入門編』 研究社

### 5. 準備学修の内容

①予習と復習が必須。授業内で扱う原作の抜粋、参考資料、映像作品を必ず予習し、疑問点や興味深い点を書き留め、積極的に質問、コメントしてください。②受講生の皆さんに積極的に授業に参加してもらうため、作品内容に関するクイズ、reflection paper、短いレポートを課し、対面授業の場合、結末予想、グループディスカッションなどのアクティビティを授業に取り入れる予定。

### 6. その他履修上の注意事項

以下の点に注意してください。

1. 初回の授業で内容、スケジュール、評価の方法等について説明するので、履修希望者は必ず出席してください。
2. 対面授業の場合、グループディスカッションを行い、受講生同士で、文学作品に対する自分の解釈を語り合うアクティビティを取り入れる予定。積極的に参加して、文学の楽しさを見つけてください。
3. 授業中、作品の抜粋、関連する文献と映像を英語で紹介することが多いので、毎週必ず辞書を持参すること。
4. 偏見を持たずに幅広く世界の歴史、社会と文化に興味を持ってもらいたい。

### 7. 授業内容

【第1回】 Introduction to the course  
(授業内容と計画は、受講生のニーズと希望などに応じて変更される可能性があります)

【第2回】 映画"Little Women" (2019)  
#Me Too時代の『若草物語』と人気が衰えない原作

【第3回】 Louisa May Alcott: Author, Activist, and an early American Feminist  
映画の原作者ルイザ・M・オルコット:活動家、フェミニスト、そして働く女性の先駆け

【第4回】 Little Women (1868)  
4姉妹のそれぞれの生き方 1

【第5回】 Little Women (1868)  
4姉妹のそれぞれの生き方 2

【第6回】 "Little Women"  
新作映画と原作の比較—フェミニズムとアメリカ社会における女性の立場の変化

【第7回】 ①中間試験  
②Ernest Hemingwayと『老人と海』(The Old Man and the Sea 1952)  
デジタル時代にヘミングウェイを読む—戦争、赤十字社、サファリ、恋と女性たち

【第8回】 ①中間試験講評  
②Ernest Hemingway, 『老人と海』(The Old Man and the Sea 1952)  
ストーリーのoverview;3日間闘いの概要、テキスト抜粋の読解①  
(LMSにコンテンツを掲載し授業を行う)

【第9回】 『老人と海』(The Old Man and the Sea 1952)にみるジェンダーと男性性の描写 1  
テキスト抜粋の読解②

【第10回】 『老人と海』(The Old Man and the Sea 1952)にみるジェンダーと男性性の描写 2  
テキスト抜粋の読解③、映画(1958)との比較

【第11回】 『ティファニーで朝食を』(Breakfast at Tiffany's 1957)  
作者Truman Capoteについて

【第12回】 『ティファニーで朝食を』(Breakfast at Tiffany's 1957)  
ストーリーと抜粋の読解

【第13回】 『ティファニーで朝食を』(Breakfast at Tiffany's 1957)にみるジェンダーとセクシャリティの曖昧性

【第14回】 『ティファニーで朝食を』(Breakfast at Tiffany's 1957)  
映画(1961)との比較、冷戦期のアメリカ女性

【第15回】 Review and final Exam